

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

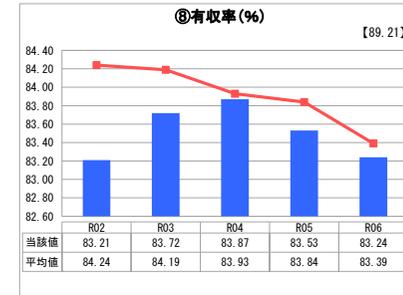
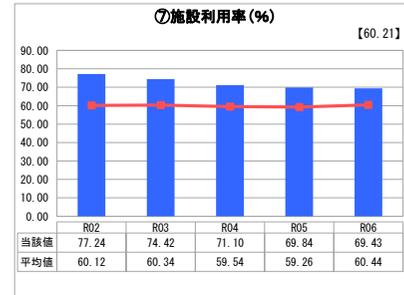
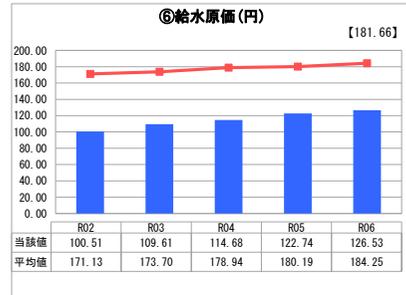
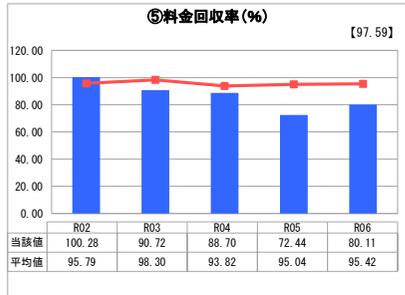
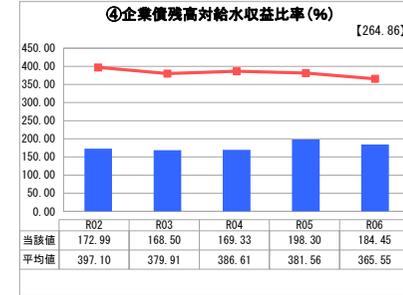
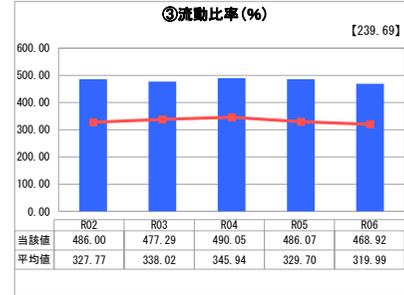
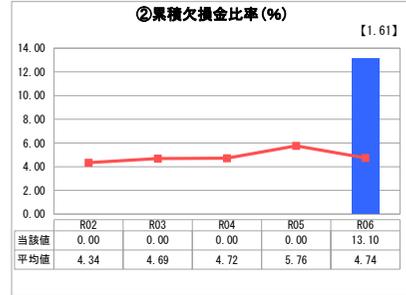
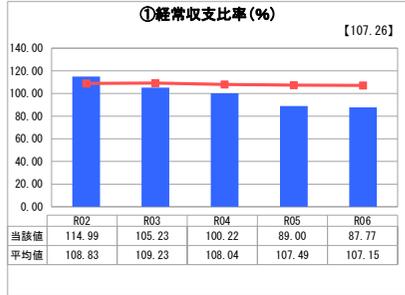
神奈川県 南足柄市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)	
-	87.02	96.66	1,595	

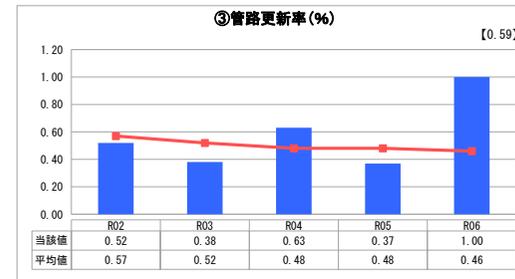
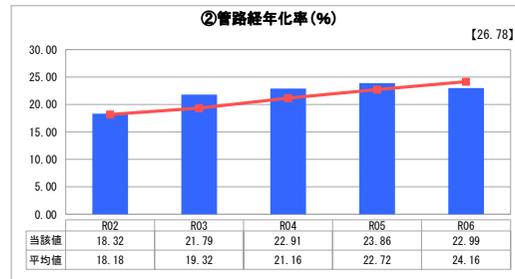
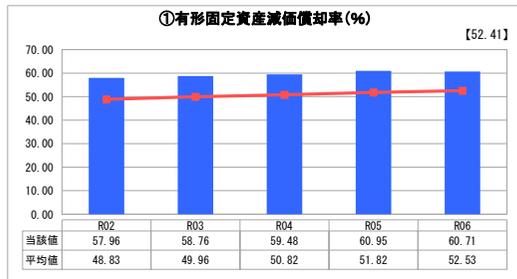
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
40,164	77.12	520.80
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
38,603	19.05	2,026.40

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は前年度より微減しており、赤字経営が続いたことから、②累積欠損金が生じている状況です。  
 ③流動比率は100%を超え、④企業債残高対給水収益比率は類似団体や全国平均より低い状況から、短期的には良好な状態といえますが、現状の経営状況が設備投資の増加などにより、長期的には厳しい状況となることが見込まれます。  
 ⑤料金回収率は給水収益の減少により100%を下回っています。大幅な給水収益の増加がない限りこの状態が続くと見込まれます。  
 ⑥給水原価は、本市は表流水と地下水の両方を水源としていることや立地条件などにより類似団体・全国平均より低く良好な状態といえますが、昨今の社会情勢等で費用増加による原価の上昇は今後も続くことと見込まれます。  
 ⑦施設利用率は、類似団体や全国平均より比較的高く、有効的に施設を活用しているといえます。  
 ⑧有収率は、年度により変動はあるものの、類似団体や全国平均と同程度です。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、類似団体や全国平均より高い水準となっており、老朽化が進んでいるため、計画的な更新工事を実施しています。  
 ②管路経年化率は、類似団体と同様に上昇傾向でしたが、計画的な更新工事により低下しました。  
 ③管路更新率は、前年度からの繰越事業の完成や効果的・効率的な更新事業の実施により6ポイント以上大きく増加しました。

## 全体総括

給水収益の大幅な減少の改善のため料金改定に取り組み、令和7年度に改定を行います。  
 大幅な経営改善とはならないものの、利用者の負担増に配慮し、一般会計からの助成を受けながら更なる経営改善に取り組みまいります。  
 施設や管路の老朽化対策については、基幹管路の耐震化を主に、引き続き計画的に更新事業を進めてまいります。  
 今後は必要な設備投資を行うことで厳しい経営状況となることが想定されますが、安全・安心な水の安定供給のため、適正な料金収入の確保に努めてまいります。